

<https://ets-holdings.co.jp>

ETS



2018年9月期
中間決算説明（補足資料）

Corporate
Presentation

株式会社ETSホールディングス

JASDAQ Code:1789

本資料は、2018年9月期中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
また、本資料は2018年5月10日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

～歴史あるチャレンジ企業～

株式会社ETSホールディングス

100年の伝統から100年の未来へ

事業方針

建設業界において、
長年の実績を誇る当社は、現状の事業領域にとどまらず、
先進技術による工事・工法へも果敢に挑戦する事で
地球温暖化対策などの環境改善の貢献に加えて
先見性を持って、異分野の開拓にも積極的に活動します。

企業概要

2018年3月末現在

創 業
決 算 期
資 本 金
発行済株式数

1922年2月11日
9月決算
9億8,966万円
6,375,284株

代表取締役

代表取締役社長 三森 茂

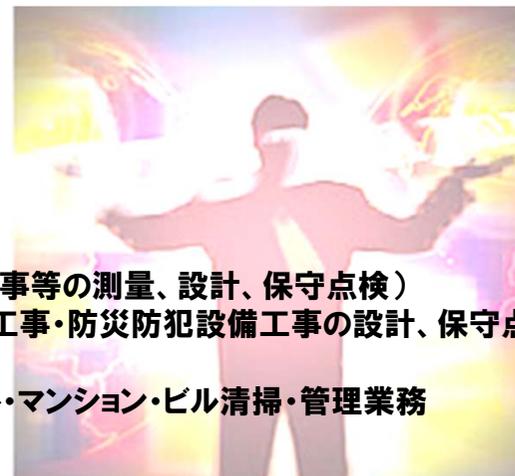
収益セグメント

■電気工事業

- ①送電線事業（架空送電線工事・地中送電線工事・変電所工事・土木工事等の測量、設計、保守点検）
- ②設備事業（電気設備工事・再生可能エネルギー設備工事・省エネ設備工事・防災防犯設備工事の設計、保守点検）

■建物管理業

- ①マンション管理組合代行業務 ②建物設備メンテナンス業務 ③アパート・マンション・ビル清掃・管理業務
- ④各種 建物設備工事、修繕工事



本 社
事 業 所
連 結 子 会 社
連 結 従 業 員
加 盟 団 体

東京都豊島区南池袋1-10-13

■ 東北送電事業本部・中部送電事業部・石巻営業所・関西営業所

■ (株)東京管理【出資比率100%】

145名……電気工事業112名 建物管理業33名

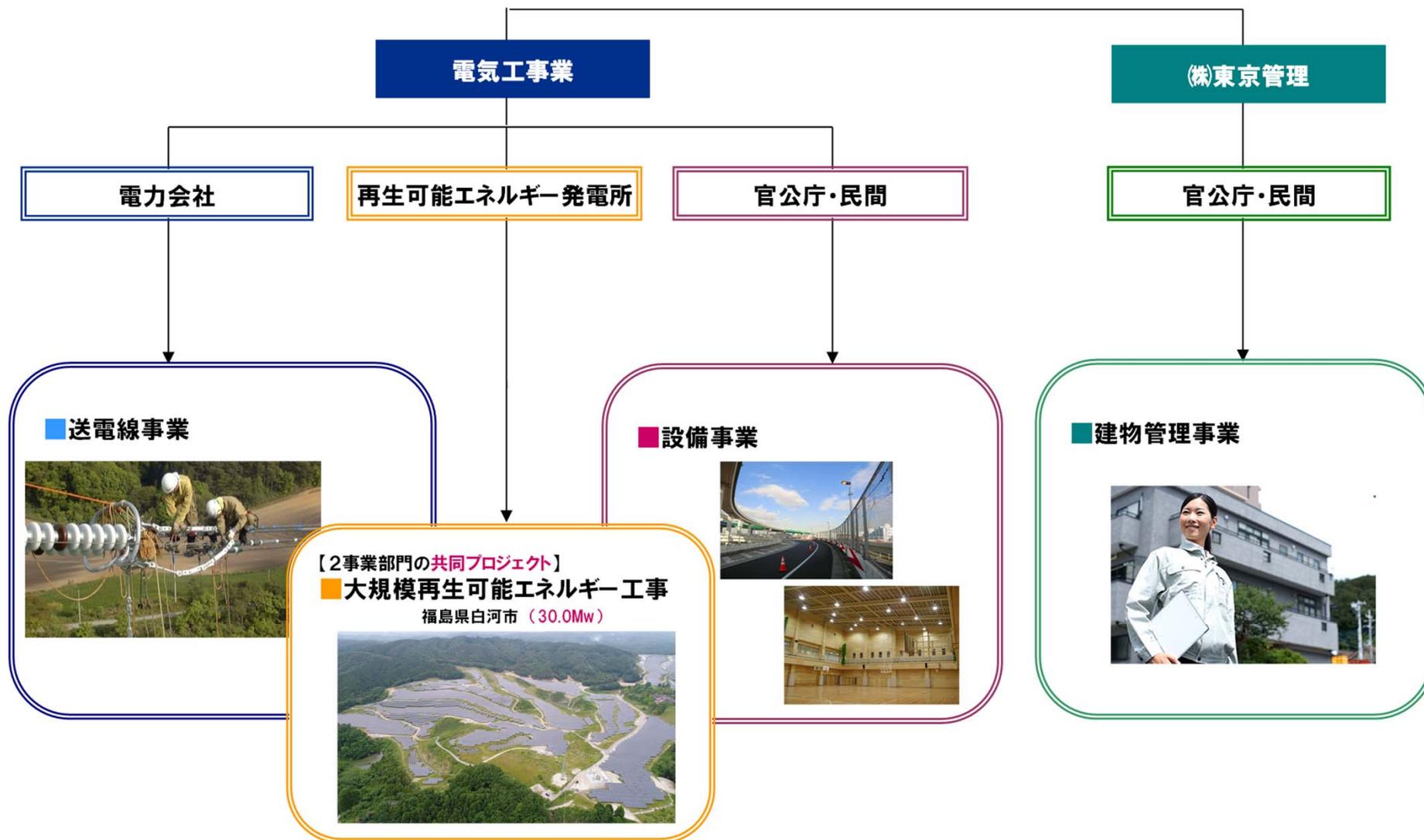
(一社)送電線建設技術研究会 (一社)日本鉄塔協会 (一社)日本電気協会 (一社)日本電設工業協会

(一社)東北経済連合会 (一社)東京都電設協会 (一社)大阪電業協会 東京都電気工事工業組合

送電線建設協力会 特暴連・地区特防協

(一社)マンション管理業協会(同保証機構会員)(公社)全国ビルメンテナンス協会(公社)東京ビルメンテナンス協会

株式会社ETSホールディングス





送電線事業

■当社の強み『独自技術の提案型企业』

独自技術であるスカイランスならびにタワーリフター工法を武器に、調査設計から施工に至る一貫性のある工事にも対応。長年培ってきた開発技術、および、**架線専属の現業社員による質の高い施工**を活かした技術提案型営業により、着実に増加する電力需要に対応すべく日々たゆまぬ努力を続けています。

市街地の環境変化による
既成鉄塔の低地上高対策(鉄塔嵩上げ)問題

平地・山岳地の区別なく、用地買い増しが必要ない
無支線鉄塔嵩上げ装置の独自開発
受注獲得の優位性が高まる

【1】質の高い技術者



全国で数少ない「マスターラインマン」が数名在籍

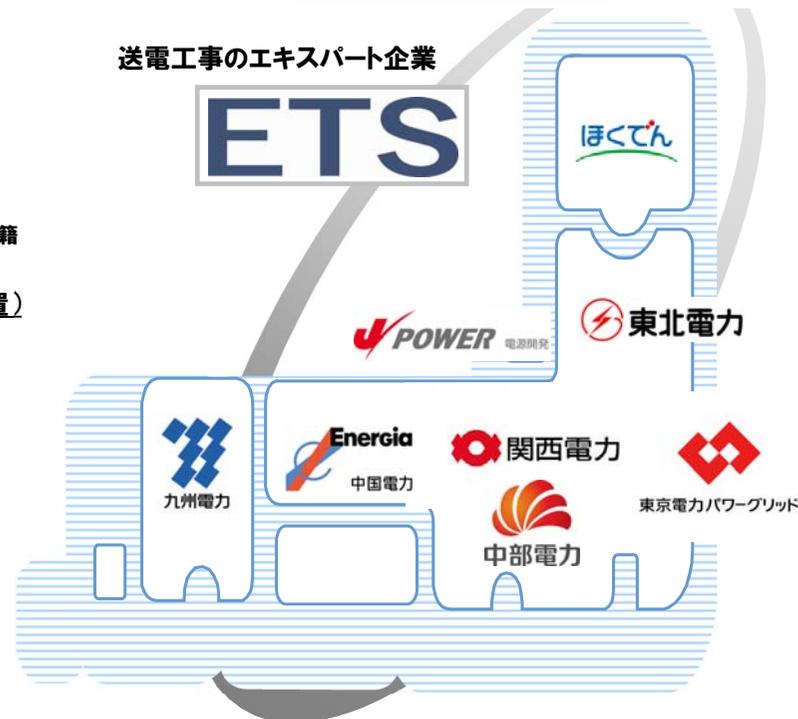
【2】独自の開発技術(鉄塔嵩上げ装置)

エナーク160
特許番号【第5980740号】



【3】大手電力会社との取引実績

送電工事のエキスパート企業



■設備事業(電気工事技術)
&
■送電線事業(土木工事技術)

■再生可能エネルギー発電所事業
■高圧変電所事業
『技術分野の融合』で全国展開

特別高圧、急傾斜地や水上型などの高難度の工事
受注獲得の優位性が高まる

高技術の特別高圧変電所の工事風景

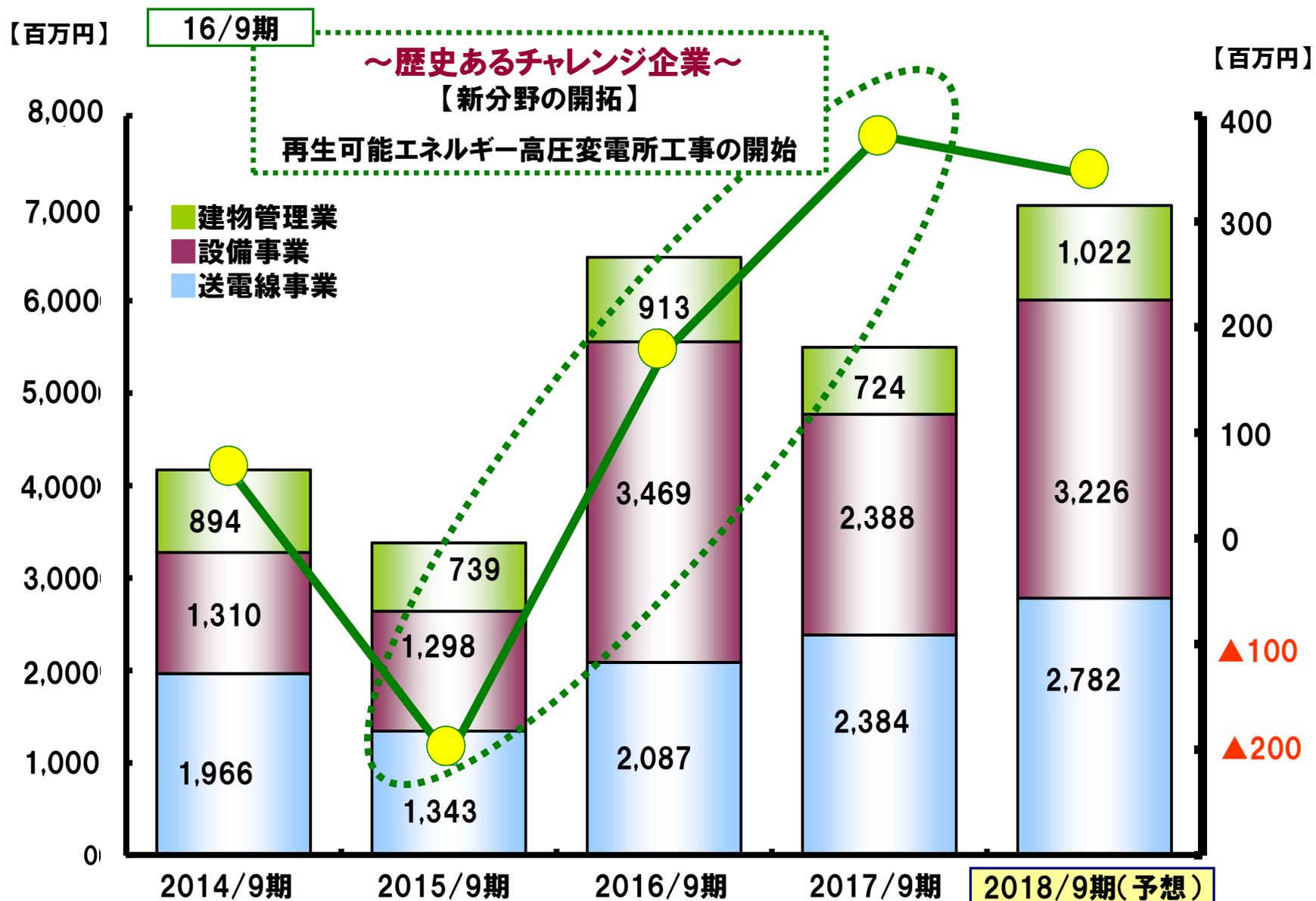


皆野太陽光発電所 2.0Mw【埼玉県秩父郡】



※最大45度の旧勾配斜面にて行った高難易度工事

売上高【左軸】と営業利益【右軸】の推移



18/9期中間 期初予想との差異 ※期初予想の業績予想数値

①		②		②-①
単位:百万円 (切り捨て)	18/9期中間 【期初予想】	18/9期中間 【実績】	公表予想 差額	
■電気工事業	2,098	2,344	+246	
① ■送電線事業	(920)	(962)		
② ■設備事業	(1,178)	(1,382)		
■建物管理・清掃業	475	439	▲35	
売上高	2,574	2,784	+210	
売上高総利益	457	507	+50	
販売管理費	446	448	+1	
営業利益	11	59	+48	
経常利益	9	57	+48	
当期利益	7	44	+37	

予想比達成率 **110.9%**
 『原価低減の見直し』
 『労働生産性重視』

■18/9期中間 決算ポイント

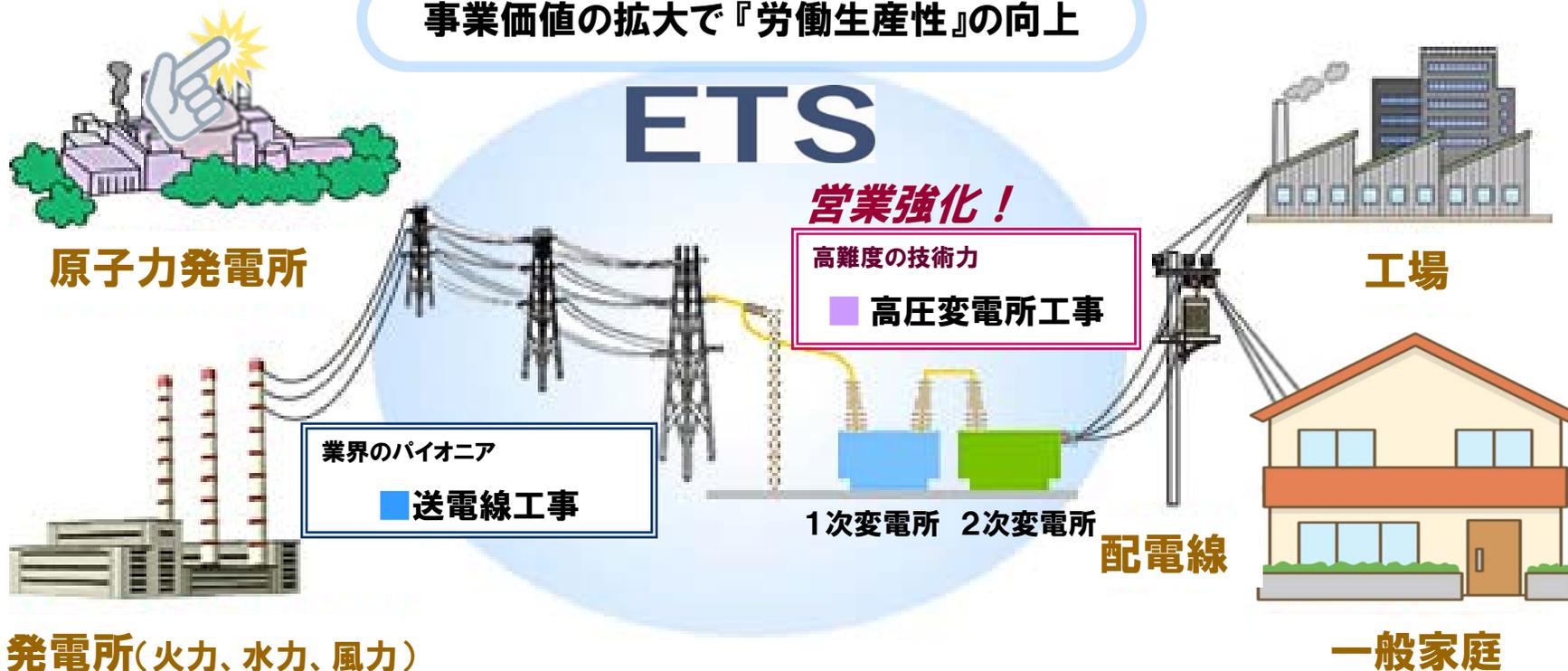
1.【売上高】 期初の業績予想に対して 達成率 108.2%

- (1) ■送電線事業……「高難度技術」で差別化事業である **特高変電所工事の推進**
- (2) ■設備事業……「労働生産性」が高い **再生可能エネルギー発電所工事の建設は計画通り**
- (3) ■建物管理業……優秀人材の採用で、建物巡回清掃業の管理棟数の増加推進

2.【売上高総利益】 期初の業績予想に対して 達成率110.9%

- (1) ■送電線事業……収益性の高い送電線事業の複数件の対応と**短工期の特高変電所工事**が収益寄与
- (2) ■設備事業……原価低減の見直しによる収益率の維持
- (3) ■建物管理業……期初計画通り 売上高総利益率増加推進

事業価値の拡大で『労働生産性』の向上



■【技術力】急傾斜地の対応



■特高変電所工事の推進（高難度・短工期の受注）



発電所施工実績 17発電所 合計61.0Mw





～エネルギー価値創造のSystem Integrator～

※ システムインテグレータとは
企画、設計、開発、構築、導入、保守、などを一貫して
請け負う 発電システムインテグレーションを行う企業。



One Stop Solution



※ EPC(設計・調達・建設を含む建設工事請負業者)

※ O&M(運転管理・保守メンテナンス)

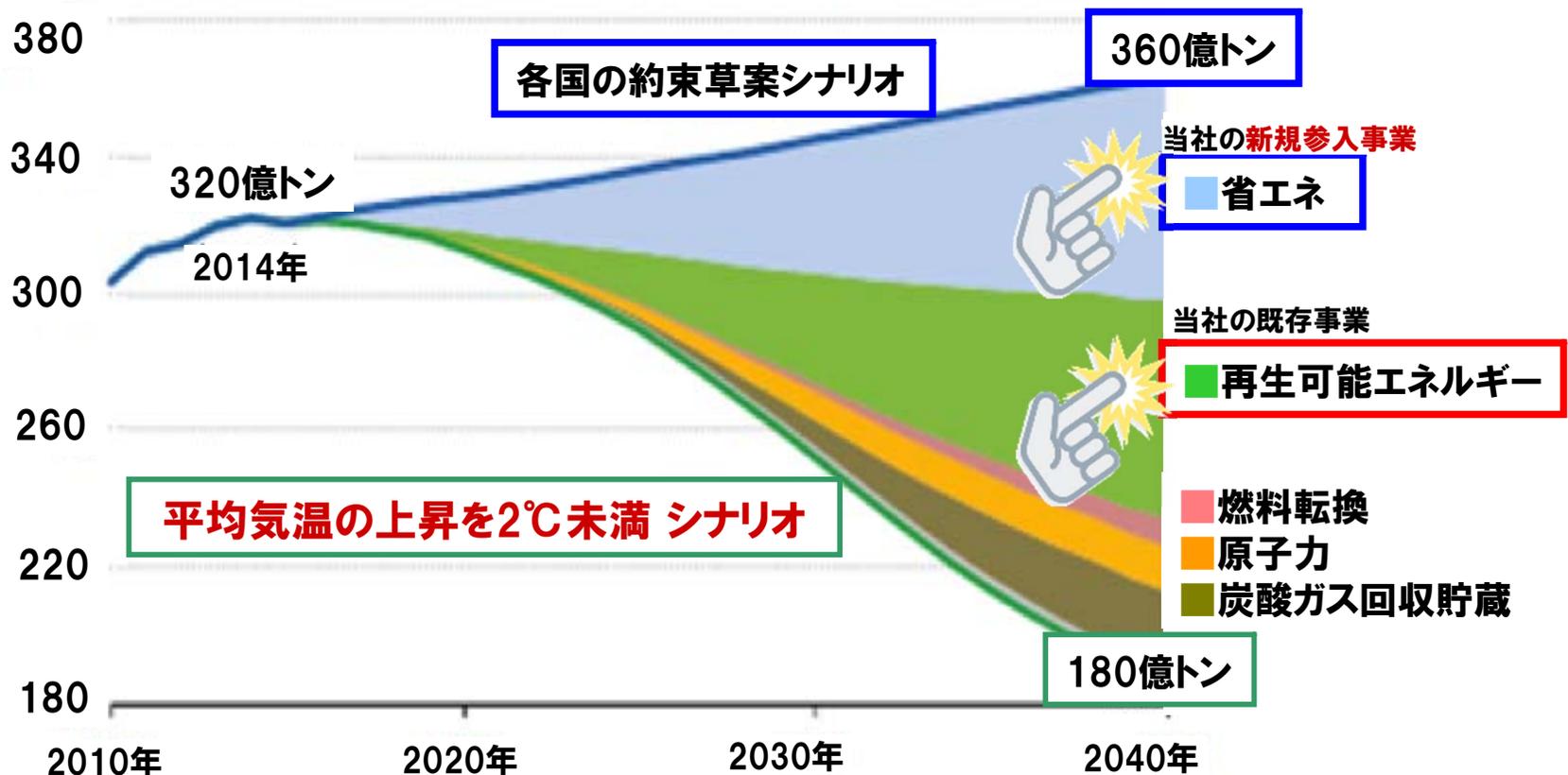
Phase0	Phase1	Phase2	Phase3	Phase4	Phase5	Phase6
プロジェクト構築	契約	工事着工①	工事着工②	太陽光発電システム完成	連系工事	売電開始 運用報告・管理 ・効果測定
<ul style="list-style-type: none"> 見積書の説明 収支(発電量)計画 電力系統の確認 設備認定の申請書 	<ul style="list-style-type: none"> 契約書締結 接続検討の申込み 設備認定 	<ul style="list-style-type: none"> 土木工事 太陽光発電設置 電気工事 監視システム設置 接続検討の実施 (基本3ヶ月) 	<ul style="list-style-type: none"> 接続検討の回答 接続供給の申込み 工事費負担金契約 	<ul style="list-style-type: none"> 図面協議 	<ul style="list-style-type: none"> 接続供給契約 発電設備設置・運転費用年報など提出 	

■ 発注者との手続き ■ 電力会社との手続き代行 ■ 経済産業省との手続き代行



「平均気温の上昇を2℃未満に抑えるシナリオ」のCO₂削減量の内訳

【単位：億トン】

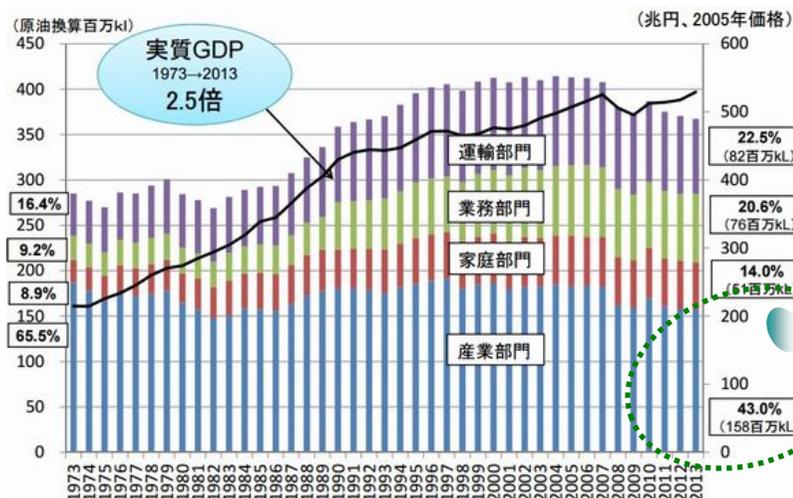


※ (出所)2017年3月 国際エネルギー機関(IEA)

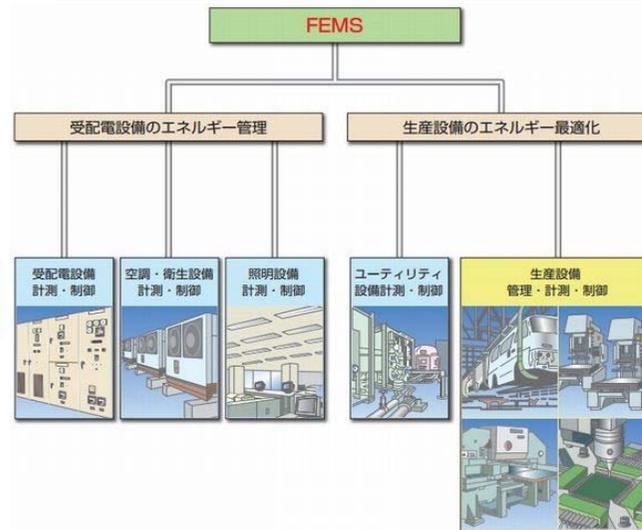
日本の最終エネルギー消費量は、製造業を中心とする「産業部門」が43%を占める
省エネ効果が遅れている「産業部門」はFEMS※の導入が求められている

※FEMS
(工場向けエネルギー管理システム)

最終エネルギー消費量の推移(出所:資源エネルギー庁)



産業部門に求められるFEMS(出所:日本電機工業会)



New

■ウェブサイトの開設【2018年3月27日】

工場省エネ.com

<https://koujyou-syoene.com/>

■当サイトの無料サービス

既存設備も活用しながら導入コストを抑え、投資回収期間を3年以内にした事例をご紹介します！

■全国の工場事例レポート



■現場診断でコスト削減の提案



■出張型相談会



■月間メールマガジン発行



2017年12月22日 当社は山加電業株式会社から「株式会社ETSホールディングス」に社名を変更致しました



※ 上記の「Technologi」は「Technology」の造語。
次世代の技術にチャレンジしていく企業文化を表現しました。

「新商号への想い」

約96年の実績の中で培われた『当社の技術力』は、人々の暮らしを支えるインフラ整備促進のパイオニアとしての地位を高める中で、安全な現場環境、自然環境保護にも大いに貢献してまいりました。

今後は、企業ブランドを活用して、単一事業にとらわれることなく幅広い事業展開を目指していくこと、地球温暖化対策への貢献及び先進技術による工事・工法へも果敢にチャレンジしていくこと、その他異分野の開拓に対しても予断を持たずに挑戦していくことで新たな100年企業を創造し、企業グループの価値向上を目指します。

100年の伝統から 100年の未来へ

～当社は「歴史あるチャレンジ企業」として、健全な事業活動を実行し 社会に貢献しております～

New

パラリンアートとパートナー契約を締結



調印式に対する感謝状授与の写真



左:セイン・カミュ理事 様

右:当社 代表取締役社長



■パラリンアートとは・・・

- 【法人】 一般社団法人 障がい者自立支援機構
- 【設立】 2011年12月5日
- 【理事】 松永昭弘 様（創業者）
セイン・カミュ 様（タレント） 他4名
- 【登録アーティスト】 640名（2017年12月末）

**障がい者がアートで
夢を叶える世界を作る**

■事業活動の内容

**障がい者アーティストと
“ひとつのチーム”になり、
社会保障費に依存せず、
民間企業・個人の継続協力で
障がい者支援できる社会貢献型事業。**

<http://paralymart.or.jp/>